



MRI で見える柔整師の未来

～宇都宮セントラルクリニックとの検査連携の必要性～

7月28日、帝京大学宇都宮キャンパスで第92回学術講演会が開催された。当会員、帝京大学生など合わせて160人が参加し、メモを取りながら熱心に耳を傾けていた。

第1部は鈴木忠夫保険部長の保険取扱セミナーで、最近の審査傾向と柔整療養費について説明があった。

柔整審査会では、①形式審査（支給申請書の記載誤り）②内容審査（支給対象者の具体的な負傷名、近接部位の考え方）③傾向審査（多部位、長期、頻回施術の傾向）が行われるが、長期請求が少ない・近接部位・パターン化（全部2部位など）などがチェックされるようだ。そして、長期理由には「何が良くなり、何が悪くて長期になるのか」しっかりと理由を記載することも必要となる。



また、返戻回答や審査請求に今後は「対診」という言葉は使わず、保険医療機関に同意、確定および鑑別診断などを求めた場合には「依頼しました」「紹介しました」の文言を使用することとした。

令和5年度の不支給および一部減額件数は131件あったという。今後の課題として、柔道整復師は外傷に対する知識を高め施術に反映させ、患者さまには柔整療養費に対する理解を深めてもらい、安心感の構築を図ることが肝要だとした。

第2部はDIC宇都宮セントラルクリニック放射線グループ副技師長の滝沢直也先生をお招きし、MRI画像を中心とした症例紹介をご講演いただいた。



MRIとは、磁気の中で体内の水素原子を利用して画像化したもので、生体は水素原子（水や脂肪）が多く含まれるため、検出（＝画像化）しやすいと説明した。

画像の見え方には、T1強調像とT2強調像があり、組織の水と脂肪の多い・少ないによって白く（高信号）見えたり、黒く（低信号）見えたりする（下表）。

	骨	筋肉	靭帯	脂肪	水	出血
T1	やや低～高信号	低信号(黒)	低信号(黒)	高信号(白)	低信号(黒)	様々
T2	やや低～高信号	低信号(黒)	低信号(黒)	高信号(白)	高信号(白)	様々

また、2種の画像に脂肪抑制し、脂肪に埋もれている病変を見やすくすることもできる。

今回、さまざまな症例を挙げての読影法などMRI検査の最前線でご活躍されている滝沢先生の講演は、大変貴重であり、また宇都宮セントラルクリニックとの検査連携の提案は柔道整復師にとって適切な施術を行うことにつながり、何よりも患者の不安を早期に取り除くことになる。

MRI画像診断を多くの会員が利用するようお願いしたい。また、読影の難しい画像については、とちのきクリニックの利用も提案したい。

講演会に際し感謝するとともに常にスキルを向上させる必要があることを実感した。

学術部 星野訓昭

良識施術、交換するのは笑顔

7月23日、新型コロナの影響で延期されていたJA共済連栃木との意見交換会が当会館で行われた。

コロナ前は毎年定期的に行っていたが、4年ぶりの開催となり、JA共済連幹部の顔ぶれの半数以上が替わっていた。

当会からは田代会長をはじめ理事9人、JA共済連からは小林保介本部長をはじめ、損害調査部長・五月女俊之氏、矢板センター長・田崎哲也氏、宇都宮センター長・清水秀和氏、栃木センター長・谷黒宏一氏、総合査定G課長・鹿又義夫氏、同課長補佐・佐藤高之氏が出席された。

交通事故情勢報告において、人身事故件数は減少傾向にあるが、自動車共済・自賠責支払実績においても微増となっている。以前は警察署において人身事故扱いでないと支払いができなかったため、必ず人身事故の手続きをしていたが、物損事故扱いであっても支払いができるようになったため、緊急の事例以外は物損事故のまま処理していること、また警察も人身事故となると現場検証など手続きが煩わしくなることなども人身事故件数の減少の一因であるようだ。

互いの意見交換の席上では、当会から疑問点や各事例を報告し、JA側から回答をいただく場面が多かったが、当会会員の請求の中に、特に問題のあるものは見当たらないということであった。

日頃の施術の中で、医師からの診断部位以外に患者から施術部位の追加を求められた場合の対応の仕方や、特別材料費の扱い、未就学児や乳児の施術の注意点など、良識のある施術を念頭に対応していくことが肝要だ。

当会とJA共済連との意見交換会は30年ほどの歴史があり、請求側と支払い側という立場ではあるが良好な関係が続いている。これからも、今回のように笑顔で意見交換ができるような関係を築いていきたい。

広報部



笑顔で話す田代会長と小林本部長

Innovative Academic Department Series 新学術部シリーズ

付設診療所編

とちのきクリニックでの症例をご紹介します



【症例】

- * 63歳 女性
- * 負傷部位：左足関節・左第4中足骨
- * 負傷日：令和6年6月15日
- * 初検日：令和6年6月15日
- * 負傷原因：両手に荷物を持ち階段を降りる際に、10段くらいの高所より転落し負傷

【初検までの経緯・初検状態・処置】

受傷後疼痛軽度であったため、ペタンクをプレーしてきたが、帰宅後疼痛増悪したため接骨院を受診。

歩行困難状態で来院。患部を確認すると腓骨遠位端と第3・4中足骨に圧痛、腫脹著明、介達痛があった。骨折の疑いがあるため金属副子・包帯固定の処置を行い、松葉杖を使用した。

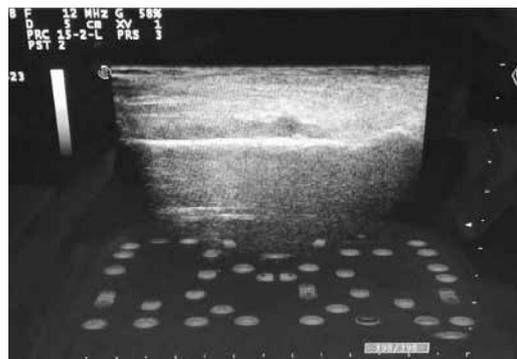
翌日とちのきクリニックに骨折疑いのため検査を依頼した。

【とちのきクリニックでの診察】

担当医師：飯島準一先生

レントゲン検査では、明らかな骨折はないようであったが、第4中足骨に圧痛・疼痛大のためエコー検査を行った。骨膜上に血種（骨幹部背側）があり、もしこれが打撲であれば皮下血種を認めることがあるが、この症例は骨上での血腫であったため、総合的に判断し不全骨折と診断された。

シーネ固定および踵歩行や松葉杖による免荷を行い、施術継続するよう指示があった。



【まとめ】

今回の症例は、受傷直後にはスポーツ活動ができていたにもかかわらず、その後疼痛増悪しているため判断が難しいものであった。

レントゲン検査で骨折が確認できなくても、エコー検査を行い、画像と症状を総合的に判断したうえで臨床上骨折と診断された。

私たち柔道整復師も症状を正確に判断したうえで可能性のある傷病への疑いを持ち、場合によってはエコーを有効活用して確定的な判断につなげられるようにしていくことが必要だ。

また、このような症例については「とちのきクリニック」を利用すれば、速やかな医師の診断によって、患者・施術者ともに安心して施術を行うことができる。全国でも類を見ない当会の付設診療所をぜひとも利用していただきたい。

学術部 高橋秀典

My Box 支部リレー投稿

第245走者 小山支部 荒井愁平

一から作る秋の味覚

当院では6年前から、秋になると数量限定で焼き芋を販売しています。サツマイモは、知り合いの畑の一面を借りて植付けから自分で行っています。



植付けは6月ごろに行いますが、日曜日にしか作業ができないので、天気予報とにらめっこしながら、一日のうちに畝づくり・マルチング（畑の土をシートで被う）・定植を約200苗程度行います。芋は、安納芋・紅はるか・紅あずま・鳴門金時・シルクスイートの中から、毎年3品種程度を選択しています。

そして、植付けから120日程度経過した頃に収穫を迎えます。土曜日の午後に2tのダンプをレンタルし、生い茂った蔓を株元からカットして休耕田に搬出します。蔓だけでもダンプ4杯分ほど

になります。

次の日曜日に、お子さんのいる家族に声をかけて収穫を手伝ってもらいます。

収穫までの作業は、肉体的にハードで孤独な苦行ですが、芋掘りを楽しむ子供たちを見ると「来年も実施しなくては！」と励まされます。

ここまでの過程で、農作業による身体的負荷が、どの部位に、どのようにかかるのかを身をもって痛感することで、患者さんとの共感性が高まります。

畝上げや収穫作業は確かに大変ですが、最も体に良くないと感じるのは「草むしり」です。実際に多くの患者さんと共感しました。

さて、いよいよ焼き芋を始めますが、収穫後1か月以上熟成させ、炭火で焼いていきます。

この5年で得た美味しい焼き芋の5か条は、
①びちょびちょに濡れた新聞紙で包む②アルミホイルは隙間なくぴっちり密着させる



③20分おきに転がす④焼いているときは絶対にアルミホイルに穴をあけない（穴があると焦げます）⑤2時間以上焼かないこと。特に④が大切です。

患者さんたちも恒例行事だと認識しているようで、毎年10月ごろから「まだなの？」「今年の品種は？」と楽しみにされています。サツマイモを通じて、子供から高齢者まで、幅広い年齢層とコミュニケーションが取れる素晴らしい機会になっています。

次回は芳賀支部にバトンタッチです。

還暦ほねつぎの独り言

106回を数える夏の甲子園。本県からは文武両道を掲げる県立石橋高校が出場し、初戦の初出場校同士対決を5-0で制した。

相手の聖和学園のエース斎藤佑樹くんはハンカチ王子と同姓同名ということで話題になったが、実は大田原中学出身。石橋の捕手山下くんとは旧知の仲らしい。

3回戦では強豪青森山田に屈したが、創立100周年の年にふさわしい甲子園の初勝利だった。

三代目大木屋五平

緑 タグ は 柔 整 色

7月7日、当会館において「災害時の医療救護活動に資する研修会」が行われ、心肺蘇生訓練用人形4体とAED4台を使い、20人の参加者が一次救命処置（BLS）訓練を受けた。

講師は、男体山登拝祭や宇都宮トレイルラン（古賀志山）などの救護現場で活動し、JIMTEF（公益財団法人国際医療技術財団）災害医療研修にも参加されている塚原剛理事が務めた。

講習はBLSの手順を座学と実習で行われたが、CPR（心肺蘇生）の実習では、参加者からの「CPRでの胸部圧迫の強さは体感できたが、実際の生身の人間ではどうなのか？」との質問に、「最初は怖くて胸が沈むほど押せない。必死に助けようとするうちに肋骨が折れるほどやった。それを恐れていると命を失う」と答え、「度胸のいることだが、押込みが弱いからダメなのではなく、命を救うために弱くてもいいから押ししてほしい」と付け加えた。



AEDの使用方法では、傷病者の体に付着する異物や汚れ、水分の除去は大切なことのように。衣服や体の周りが濡れていれば、電気ショックの電流はそこに流れてしまうからだ。また、AEDは心電図をモニターし続けていて、心臓に異常があれば再度知らせようになっている。「たとえ傷病者の意識が回復してもパッドを外さないこと。外すのは二次救急の医療機関の医師」だそうだ。

なお、日本赤十字社栃木県支部の協力で、毎年12月第3日曜日に当会員のみが受講できる正規の心肺蘇生法講習を行っているので、一度は受けてみるべきだろう。

〈災害現場での柔整師の役割〉

そのほか、災害現場においての柔整師の活動はどうあるべきかを受講した。

残念ながら、災害現場においては骨折・脱臼の整復など、柔整師の業務範囲である外傷への対応は求められていない。必要があるとすれば、トリアージで緑タグとなった命に別状のない、軽症の傷病者たちへの対応だ。医師、看護師など現場での貴重な医療資源を有効活用し現場の混乱を防ぐには、この緑タグの傷病者たちを一手に引き受け、現場から離すことが重要なことだという。

塚原理事がこの役割をJIMTEF研修で医師たちに提案したところ、口を揃えて「それをやってくれるのは非常に助かる」と好意的だったそうだ。

また、過去には東日本大震災時に福島県の避難所で、県内では2019年の台風19号豪雨災害で被災した栃木市の避難所で救護支援活動をしているが、そういった場所での被災者の体のケア・心のケアをする「相談業務慰安行為」は、災害関連死などの予防にもなり、日本赤十字社も柔整師に期待を寄せているという。私たちが柔道整復術という狭義に固執することなく、広義の医療を見失わなければ、まだまだ活躍の場所はあるようだ。

今回の講習の内容は充実しており、実際の救急救命の現場に遭遇した際には役立つものであった。

災害現場での活動の意味もあらためて考えさせられるもので、特に若い会員には次の機会があれば積極的に参加してほしい。

広報部 小野塚和史

第93回学術講演会 第34回支部代表者研究論文発表会

令和6年10月27日(日) 9:10~12:50

[場所] 帝京大学宇都宮キャンパス
地域経済学科棟 大講義室

[講師] 医療法人社団亮仁会 那須中央病院 院長
吉川 一郎 先生

「子どもに発症する背骨の疾患の数々と
それらへの対応について」

共催：協同組合賛助会員展示会

令和6年 秋の交通安全 県民総ぐるみ運動



1. 運動の目的

本運動は、広く県民一人ひとりに交通安全意識の浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付け、交通事故防止の徹底を図ることを目的とします。

2. 運動の期間

令和6年9月21日(土)～30日(月)までの
10日間

3. 運動の重点等

(1) 運動の重点

- ア. 反射材用品等の着用推進や安全な横断方法の実践等による歩行者の交通事故防止
- イ. 夕暮れ時以降の早めのライト点灯やハイビームの活用促進と飲酒運転等の根絶
- ウ. 自転車・特定小型原動機付自転車利用時のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底

【自転車安全利用五則】とは

- 1 車道が原則、左側を通行、歩道は例外、歩行者を優先
- 2 交差点では、信号と一時停止を守って、安全確認
- 3 夜間はライトを点灯
- 4 飲酒運転は禁止
- 5 ヘルメットを着用

(2) 事前周知日

9月20日(金)

「秋の交通安全県民総ぐるみ運動オープニングセレモニー」(県庁本館1階「県民いちごホール」)

(3) 統一行動日

9月23日(月) 「子どもや高齢者に優しい3S(スリーエス)運動」推進強化の日

9月27日(金) 「飲酒運転根絶」「夜間走行中の原則ハイビーム」徹底強化の日

9月28日(土) 「自転車マナーアップ」強化の日

9月30日(月) 交通事故死ゼロを目指す日(全国統一)

【子どもや高齢者に優しい3S(スリーエス運動)】

- SEE(発見する)：前をよく見て子どもや高齢者をいち早く発見する。
- SLOW(減速する)：子どもや高齢者を見たら減速する。
- STOP(停止する)：危険を感じたらすぐに停止する。

支 部 だ よ り

栃木支部

大家先生勉強会やっと再開

7月24日、ホテルサンルート栃木にて第2回栃木支部会が開催され、21人が参加した。



この日は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となっていた、当会顧問でもあるおおやクリニック院長大家準先生の勉強会も行われた。

今回は、「運動器疾患に対する体外衝撃波治療について」をテーマに、超音波と衝撃波の違いや衝撃波の集束型と拡散型の違いについてなど、基礎的なことから治療への応用を教えていただいた。

現在、骨折治療をはじめ、さまざまな疾患に対して効果があるとされているが、まだ研究段階でこれからの期待したい治療法とのことだった。



支部会では、鳩山支部長から保険関連、予備点検などの留意事項、また各部員からの報告・伝達事項があった。
通信員 丸山佳洋

薄毛戯言(深読禁止)

野州烏山的那須氏と覇権を争った常陸の佐竹氏初代、昌義が築いた佐竹氏発祥の城が馬坂城。

常陸の太田城に移った佐竹氏はその後、秋田に移封されたが、茨城中の美女をごっそり連れて行ったため「秋田美人」と呼ばれるようになりました。

では、残された茨城の女性はどうかというのか? あくまでも俗説です。



2024 (令和6年)

行事予定

※とちのきクリニック
の受付は9:30~
11:30です

9月

- 1日(日) 9:00 災害時の医療救護活動に資する研修 [当会館]
- 8日(日) 10:00 とちのきクリニック 須田医師・岡本・星野登・小林
療養費支給申請書必着日
- 11日(水) 20:00 とちのき10月号編集会議 小森・植木・三上
- 12日(木) 20:00 料金改定の説明会 [WEB会議]
- 13日(金) 20:00 理事会 [WEB会議]
- 18日(水) 20:30 予備点検 [当会館] 理事・監事・支部長
- 20日(金) 20:00 とちのき校正会議 小森・三上・丸山
- 22日(日) 10:00 とちのきクリニック 須田医師・高野・星野訓・大木
- 24日(火) 14:00 労災審査 [当会館]
- 20:30 IT委員会 [当会館] 小森・松山
- 25日(水) 10:00 国保審査会 [国保連合会902号室]
- 27日(金) 10:00 協会けんぽ審査会 [とちぎ福祉プラザ]
- 29日(日) 9:00 第14回帝京シンポジウム [帝京大学宇都宮キャンパス]

10月

- 6日(日) 10:00 とちのきクリニック 須田医師・高野・高橋・小林
- 8日(火) 療養費支給申請書必着日
- 11日(金) 20:00 とちのき11月号編集会議 小森・丸山・古内
- 15日(火) 20:00 理事会 [WEB会議]
- 17日(木) 20:30 予備点検 [当会館] 理事・監事・支部長
- 18日(金) 20:00 とちのき校正会議 小森・古内・手塚
- 20日(日) 10:00 とちのきクリニック 飯島医師・館・大声・大木
- 22日(火) 14:00 労災審査 [当会館]
- 24日(木) 10:00 国保審査会 [国保連合会902号室]
- 25日(金) 10:00 協会けんぽ審査会 [とちぎ福祉プラザ]
- 27日(日) 第34回支部代表者研究論文発表会 [帝京大学]
第93回学術講演会 [帝京大学]
- 29日(火) 20:30 IT委員会 [当会館] 小森・館

(変更や追加などはホームページをご覧ください)

川柳

塩谷支部 船橋 仁和

ほどほどの地位ぬるま湯の良さを知り
泣き言を言うなら努力して笑え
手抜きさえ出来れば医者と縁が切れ

information

お知らせ

会員数

令和6年8月1日現在

会員数 **361名**
 研修柔道整復師 **8名**
 施術所数 **343院**



会員の異動状況報告

(研)…研修柔道整復師

- ・小柔整85 武澤 昌宏 武澤整骨院
〒323-0817 小山市東野田762
☎0285-27-6582 令和6年7月17日 入会
- ・那柔整92 村上 直也 むらかみ整骨院
〒329-2712 那須塩原市下永田1-1012-11
☎0287-48-6268 令和6年7月16日 開設
- ・宇柔整242 靱山 拓輝 ブレックス接骨院
〒320-0842 宇都宮市京町15-23ア レックスシタリスタジオ1F
☎028-666-7617 令和6年7月31日 退会

訃報

芳賀支部 海老澤 重一 会員のご母堂様
 (イセ 様 99歳) がご逝去されました。
 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

ご会葬御礼

過日は、ご多忙中にもかかわらず、会員の皆様には
 ご会葬を賜り誠にありがとうございました。

芳賀支部 海老澤 重一

ニューフェイス

①生年月日 ②施術所名 ③施術所住所
④TEL ⑤出身校
⑥趣味 ⑦抱負

たけざわ まさひろ
武澤 昌宏 小山支部(令和6年7月17日入会)

- ①昭和53年10月26日 ②武澤整骨院
- ③小山市東野田762 ④0285-27-6582
- ⑤日本柔整専門学校 ⑥旅行(年に1回家族と計画し、思い出を作っている) ⑦まだ、右も左もわからず飛び込んだ世界ですが、少しでも父に近づける様に、そして、地域の皆様の為に貢献できる整骨院でたいです。



編集後記



最近 Google から Gemini という AI
 が登場しました。ためしに「捻挫治療
 について」と質問してみると、負傷初期からリハビリ
 まで事細かく説明してくれました。子供たちが AI
 に宿題をやらせるのも頷けます。

学術論文に使ってはいけませんよ。

二宮金太郎